

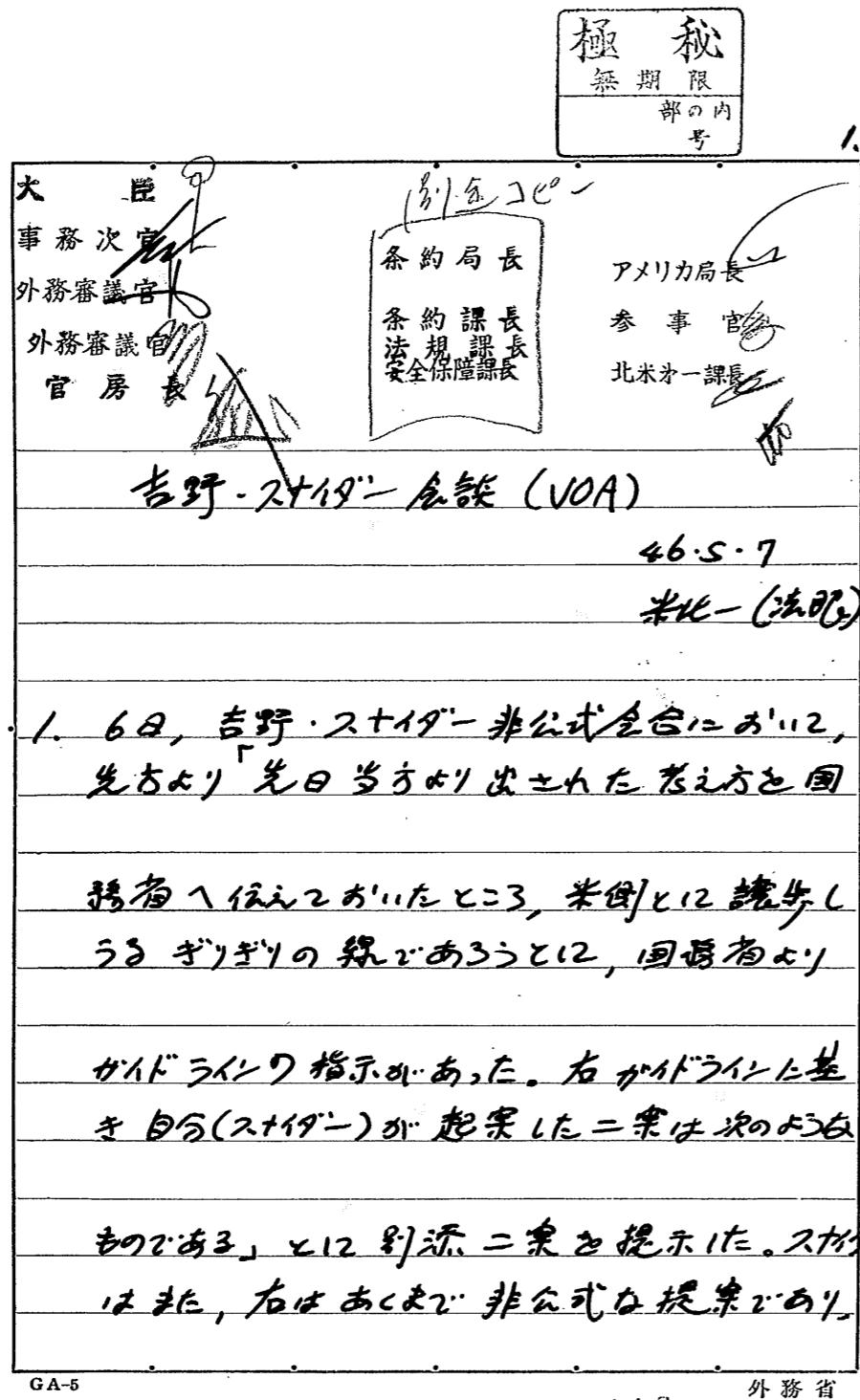
# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係 沖縄返還交渉 (VOA)( I )

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43645">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43645</a>

吉野アメリカ局長・スナイダー公使非公式会談

(昭和46年5月6日)



2.

日本側よりこのラインでなければ、国務省  
と12は測定改修内の競争に最大の努力を  
尽さうといつたのである。<sup>(16)</sup> なお、時局を踏まえ  
いるのみならず、このような非公式会談である  
から、米側と12最終地図の案を提示  
したものであり、この点併せて考慮~~せん~~頼った  
旨附言した。

2. 「又、公使は更にこれら兩案について説明  
(1). 何れも日本側より費用を負担12代替放  
送局を造301、<sup>(17)</sup> 12は代替施設の建設に  
必要な経費を日本側より負担することを希望  
してゐる、これが日本側より承諾するに至る  
時の事件である。(2). これら兩案の日本側に  
對するものは、理論的かつ代替施設の建設

GA-6 外務省

なおスティルは方二案は所謂「継続審議」の感じで  
去る趣旨のものであるが、米側は一定の時期の特徴  
を認め方二案を第一案とすべきものと考へて改めて作成した。

3.

これまで半側よりは移管用意があること  
と、日本側より建設工事を引き受けの場合には、

それに伴う移管時期を早めうまことある。1月、  
半側より5年位大沖縄上層に気持がある

旨述べた。

3. 二回目より吉野局長よりあるとのコメント  
といふ、かかわる立場は前回申し述べた

通り、原稿撤去 ~~を~~ <sup>を</sup> 勿用の負担も考慮  
したこと(いたゞき)、3年+2 後のものである

3段目は、勿用負担は控めて 説明(難い)  
と述べたところ、次、公便は、半側よりVOA

の原稿は予見(お見)、またこのため余計  
に予算を請求する=これが議会と2月12日説明

出来ず、まだこのような提案は未議会の段階

GA-6

外務省

は起きたので憂慮(ゆうりょく)。今更 日米共同  
声の发出当時の交渉経緯や、昨年の統一

訪華の際の本件に関する手稿当局の接  
触の経緯をあげつらう試みた旨、これ

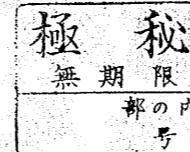
これはなぜならば、VOAの原稿はいつ2月  
はさきと共同声を2月12日でまとめてあった

旨述べた。

GA-6

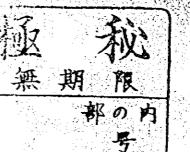
外務省

第一案



The United States will be permitted to operate the VOA for a period of three years after the reversion. Within the above period, both Governments shall consult with each other for the purpose of reviewing the feasibility of continued operation of the VOA. If there is no agreement reached regarding the continued operation of the VOA, the United States Government will cease to operate the VOA, as soon as a substitute station is constructed by GOJ or at GOJ expense outside the territories of Japan.

第二案



Following the date of entry into force of this Agreement, the two Governments will consult regarding the continued operation of the Voice of America facility on Okinawa. Pending final agreement between the two Governments, the GOJ will permit the facility to continue in operation. If agreement is reached that the facility will not continue in operation on Okinawa, the USG will cease operation of the facility as soon as a substitute station is constructed by the GOJ, or at the expense of the GOJ outside of Japan.